

- 1 鎌倉幕府が土地管理や年貢徴収を行わせるために、各所に配置した役職を何という？
- 2 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？
- 3 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 4 『平家物語』の冒頭「（空欄）、諸行無常の響きあり」の空欄に入る言葉は？
- 5 鎌倉時代、幕府の打倒をめざして挙兵し、敗れて隠岐に流された人物は誰？
- 6 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？
- 7 東大寺南大門に安置されている、力強い表現が特徴の金剛力士像を制作した仏師は誰？
- 8 鎌倉時代後期に、困窮して幕府の支配に抵抗するようになったかつての幕府の味方は誰？
- 9 法然が掲げた、ただ念仏を唱えるだけで救われるという教えを何という？
- 10 承久の乱の後、初代の六波羅探題として京都に留まり、のちに3代執権となつて御成敗式目を定めた人物は誰？
- 11 鎌倉時代の武士の間で行われていた、子どもたちに領地を分け与える相続方法を何という？
- 12 『東方見聞録』を記した、モンゴル帝国のフビライ=ハンのもとを訪れたイタリアの旅行家は誰？
- 13 鎌倉時代の将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」によって成り立つ結びつきを何という？
- 14 浄土真宗を開き、念仏を唱えれば誰でも救われると説いた人物は誰？
- 15 鎌倉時代に東大寺南大門を再建し、大仏様の建築様式を取り入れた僧侶は誰？
- 16 琵琶法師により、当時の人々に語り伝えられた鎌倉時代の軍記物語を何という？
- 17 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？
- 18 鎌倉時代において、御恩と奉公を通じた将軍と御家人の結びつきによって成立した政治権力を何という？
- 19 鎌倉幕府において、将軍が御家人に領地などを与えることを何という？
- 20 鴨長明が著した『方丈記』のように、作者自身の見聞や感想などを自由な形式で書いた文章のジャンルを何という？
- 21 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	地頭 は、荘園や公領において土地の管理、犯罪者の取り締まり、そして年貢の徴収を行うために配置されました。		地頭	☐
2	一遍 は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。		一遍	☐
3	鎌倉文化 は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。		鎌倉文化	☐
4	『平家物語』は、この冒頭のフレーズが示す通り、栄えたものも必ず衰えるという「諸行無常」の思想を根本に置いています。		祇園精舎の鐘の声	☐
5	その結果、首謀者である 後鳥羽上皇 は隠岐へ流されることとなりました。		後鳥羽上皇	☐
6	北条時宗 は鎌倉幕府の第8代執権です。		北条時宗	☐
7	運慶 は、それまでの仏像と異なり、筋肉の動きや表情の細部までリアルに表現する彫刻手法を確立しました。		運慶	☐
8	経済的に追い詰められた 御家人 は、借金を重ねるなどして没落していきました。		御家人	☐
9	専修念仏 は、複雑な修行や学問を必要とせず、ただ「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えるだけで、阿弥陀仏の救いを受けて浄土へ往生できるという教えです。		専修念仏	☐
10	北条泰時 は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。		北条泰時	☐
11	当時の武士社会では、家督を継ぐ長男だけでなく、他の兄弟にも領地を分ける 分割相続 が一般的でした。		分割相続	☐
12	マルコ・ポーロ はヴェネツィア出身の商人であり、中央アジアを通して元の都（大都）へ渡り、フビライ＝ハンに仕えました。		マルコ・ポーロ	☐
13	主従関係 とは、将軍が土地を保障する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」が対になったものです。		主従関係	☐
14	親鸞 は、法然の弟子として活動し、阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えれば、罪深い人間であっても救われるという「悪人正機説」を説きました。		親鸞	☐
15	重源 は朝廷や幕府の協力を得て、東大寺の再建という大事業を主導しました。		重源	☐
16	『平家物語』は、平氏の滅亡までの過程を力強く描き出した文学作品です。		平家物語	☐
17	東大寺南大門に安置されている 金剛力士像 は、運慶や快慶らによって作られました。		金剛力士像	☐
18	鎌倉幕府 の政治は、将軍が御家人に対し領地を保証し、御家人がそれに応じて軍事的奉公をするという「御恩と奉公」を骨子としています。		鎌倉幕府	☐
19	「 御恩 」とは、幕府が御家人に対して本領安堵（先祖代々の領地の支配を認めること）や、新恩給与（新しく獲得した土地を与えること）を行うことです。		御恩	☐
20	随筆 は、特定の形式にとらわれず、著者が感じたことを素直に綴る形式です。		随筆	☐
21	『 方丈記 』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。		方丈記	☐

言えなかった用語ノート